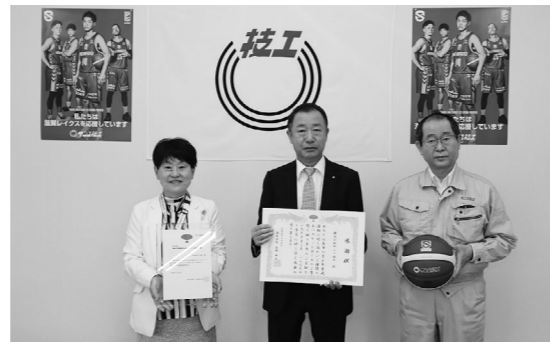


サンユ技工様からバスケットボールを寄贈いただきました

サンユ技工様から、地域貢献活動として市の青少年育成活動の一助となるよう、湖南省内すべての中学校へバスケットボール(各6球)を寄贈いただきました。これは滋賀レイクスターズの事業「レイクス・バスケットボール寄贈プロジェクト」に賛同されたものです。

寄贈いただいたバスケットボールは、体育の授業や休み時間・部活動の際に使わせていただきます。



▲贈呈式の様子

水難事故を想定した訓練を実施しました

甲賀広域行政組合湖南中央消防署は、野洲川で救助訓練を実施し、迅速、的確な災害活動体制の確立と、資器材の安全かつ効果的な取扱い要領の習得を図りました。

今回の訓練を活かし、更なる災害対応能力の向上をめざすとともに、今後も訓練を重ね、地域の安心・安全に努めてまいります。



▲消防署救助訓練の様子

一般社団法人 滋賀県造園協会 湖南・甲賀支部様に街路樹の剪定・伐採ボランティアをしていただきました

9月17日、一般社団法人 滋賀県造園協会 湖南・甲賀支部様にボランティア活動で、市役所東庁舎前の街路樹の剪定・伐採作業をしていただきました。日々、市内の街路樹や公園などの植栽を美しく保つことができるようご協力をいただいています。ありがとうございました。



▲街路樹剪定・伐採ボランティアの様子

東寺で棚田を活用した農村交流会(稲刈り)が実施されました

10月3日、東寺地先で三雲養護学校の児童・生徒90人が、5月に自分たちで植えたお米の稲刈りを体験しました。この活動は、持続可能な多様性を尊重する農村づくりをめざした取組の一環として、令和4年度から「東寺棚田を守る会」により実施されています。

児童・生徒は慣れない鎌の扱いに苦労しながらも一生懸命に稲を刈り、「稲刈りは難しかったが、楽しかった。自分たちでつくったお米を食べるのが楽しみ」と話してくれました。

また、当日稲刈りの指導をしていただいた代表の吉川充裕さんは、「みんな頑張って稲を刈ってくれたし、喜んでもらえて良かった。また来年度も実施したい」と語られました。



▲稲刈りの様子

地方独立行政法人公立甲賀病院の辻川知之院長が救急功労者表彰受賞

公立甲賀病院の辻川知之院長が総務大臣および滋賀県知事より救急功労者表彰を受賞しました。令和2年4月の院長就任以来「救急を断らない病院」の理念を掲げ、コロナ禍において全国的に救急受入拒否が増加する中、コロナ入院患者を受け入れながら全県的な対応を担い、救急患者の受け入れの体制構築に尽力された功績が認められました。

辻川院長は受賞を受け、「この表彰を励みに、地域中核病院として救急医療のさらなる強化をすると共に、湖南市民からも利用していただきやすい病院になるよう努めてまいります」とコメントされました。

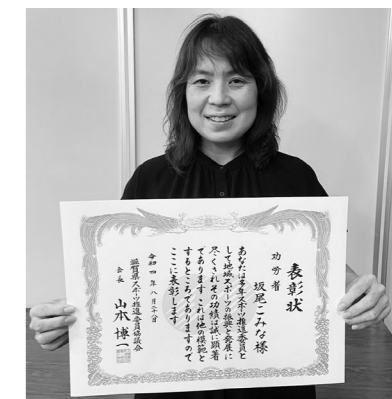


▲表彰状を持つ辻川院長

おめでとうございます

坂尾こみなさんが 滋賀県スポーツ推進協議会功労者表彰受賞

坂尾さんは平成24年に湖南省体育指導員(現スポーツ推進委員)に委嘱され10年間、ニュースポーツの指導、各種大会でのスタッフなど市のスポーツ振興に貢献してこられました。また、専門種目であるエアロビクスを活かして、湖南省スポーツフェスティバルで「親子ふれあいリズム体操」の企画、運営などにご尽力いただきました。坂尾さんは「スポーツ推進委員の皆さんや家族のおかげで委員を続けることができました。今後もスポーツ推進委員の皆さんと協力して誰もがスポーツに参加できる機会をつくっていききたい」と語られました。



▲表彰状を持つ坂尾こみなさん

車いすバスケットボール女子日本代表 北田千尋さんと車いすバスケットボールを体験!

9月25日、総合体育館で三幸・スポーツマックス共同事業体主催の車いすバスケットボール体験教室が開催され、小中学生40人が参加しました。

教室では車いすバスケットボール女子日本代表の北田千尋さんをお招きし、ルールや競技用と日常用の車いすの違いなどを教えてもらった後、デモンストレーションでシュートやドリブルを披露いただき、実際に北田選手と参加者によるミニゲームが行われました。参加者は「車いすの操作をしながらの試合は難しかったけど楽しかった」とうれしそうに話してくれました。

北田選手は「車いすを使うだけで誰でも同じルールでバスケットが楽しめる。車いすバスケットを見る機会があったら、ぜひ応援したりやってみたりして欲しい」と参加者にメッセージを贈りました。今後のご活躍を楽しみにしています。



▲北田さんと車いすバスケットで対戦の様子